

氏名	三木 知子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 号
学位授与の日付	2020年9月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Factors associated with development and distribution of granular/fuzzy astrocytes in neurodegenerative diseases (神経変性疾患における granular/fuzzy astrocytes の形成と分布に関連する因子)
論文審査委員	教授 阿部康二 教授 浅沼幹人 准教授 秋山倫之

学位論文内容の要旨

タウオパチーの病態における granular/fuzzy astrocyte(GFA)の意義を明らかにするために、嗜銀顆粒病(AGD)26例、進行性核上性麻痺(PSP)10例、アルツハイマー病(AD)26例、primary age-related tauopathy(PART)18例、その他の変性疾患31例の前頭葉皮質、尾状核、被殻、扁桃核のGFAについて、(1)分布パターン、(2)形成に関係する因子、(3)免疫染色性の特徴を検討した。GFAの出現頻度が最も高い部位は、AGDでは扁桃核(100%)、PSPでは尾状核、被殻、扁桃核(各100%)、ADでは被殻(35%)、PARTでは扁桃核(35%)であった。全105例を対象にした多変量解析では、GFA形成に有意に関係する因子は前頭葉と線条体ではPSP、扁桃核ではAGDステージであり、年齢とAD病変のステージは全ての部位で有意な因子ではなかった。GFA量と相関するAGDステージで対象を層化した検討では、AGDの進行と共にGFAのタウの過剰リン酸化、嗜銀性突起形成、オートファジーの活性化が認められた。これらの結果からGFAは疾患ごとに特徴的な分布を呈し、その評価は背景病理の予測に有用と考えられた。

論文審査結果の要旨